

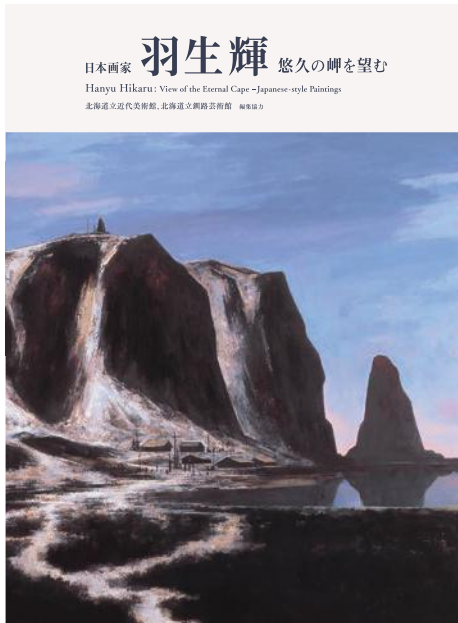
日本画家 羽生輝 悠久の岬を望む

北海道立釧路芸術館、北海道立近代美術館 = 編著

日本画家・羽生輝は、北海道の釧路を拠点に、これまで55年以上にわたって岬や浜辺、湿原など、道東を中心とした北国の風土をみつめ、描き続けてきました。重厚で鋭いタッチのうちに、ゆたかな抒情を滲ませた作品により確かな評価を築き、由緒ある日本画団体・創画会において北海道でただ一人の会員として活躍を重ねています。

本書では、その初期から近年に至る代表作およそ60点を収録します。あわせて少年期の作品、海外取材作品、新聞連載小説の挿絵原画、関連資料等をご紹介します、その画業を多様な視点により回顧します。道東の地に根差し、生み出されてきた羽生輝の深遠な日本画の世界をご堪能ください。

■羽生輝 (はにゅう・ひかる)



28 冬眠する浜 1982(昭和57)年



1941(昭和16)年、東京生まれ。7歳の年、家族で釧路へ転居。北海道学芸大学釧路分校(現・北海道教育大学釧路校)で油彩画を学び、その後、日本画に転向。市内中学校、高校で教えながら制作に取り組む。北海道美術協会展(道展)に継続して出品(74年、道教育長賞・維新堂賞。77年、会員推挙)。また中央の日本画団体・創画会に入選を重ね、93(平成5)年、2007(平成19)年、さらにその翌年と、最高賞の創画会賞を三度受賞、会員に推挙される。97(平成9)年、文化庁芸術家在外研修員として渡仏。ルーヴル、オルセーの両美術館に通い研鑽を積む。広い視野と徹底した探究心をもとに、北海道ならではの日本画表現を追求し続けている。挿絵の仕事も手がけ、原田康子作『挽歌』(1980年、釧路新聞)、『海霧』(2000~02年、北海道新聞ほか全国5紙)の連載挿絵はよく知られる。2001(平成13)年、釧路市文化賞、2007(平成19)年、北海道文化奨励賞受賞。



45 北の浜辺(床丹) 1993(平成5)年



86 海霧(07.オダイト) 2007(平成19)年

ポートレート	3
ごあいさつ	5
謝辞	6
目次	7
遙かなる風景を巡って 羽生輝の画業を支えた人々／瀬戸厚志	8
羽生輝「湿原」の連作をめぐって／藤原乃里子	12
図版	
第1章 画家へと歩み出す —日本画への憧憬	17
第2章 挑戦と迷い —自身のモチーフを探して	24
第3章 静寂と温もり —五感を澄ませて	40
第4章 海霧を描く —見えない海を感じるように	59
第5章 湿原からふたたび浜辺へ —悠久の岬を望む	76
アトリエ風景	96
年譜	97
主要文献目録	107
出品目録	113

貴店番線	発行:藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546	
	月日	日本画家 羽生輝 悠久の岬を望む
	冊	北海道立釧路芸術館、北海道立近代美術館=編著 2021年10月8日 第1刷発行 発行所 藤田印刷エクセレントブックス 判型 B5判縦(120頁) 印刷・製本 藤田印刷株式会社
		定価2,420円(税込) ISBN 978-4-86538-126-9 C0071 ¥2200E

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで